
バカと武器と召喚獣

名前未定

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカと武器と召喚獣

【Nコード】

N0258Z

【作者名】

名前未定

【あらすじ】

主人公は、武器が好きです。

できるだけキャラ崩壊しないようにします。

初小説です。文字や表現など間違っているかもしれない。

アニメしか見てないんで、アニメの方を重視する可能性がおおいに高いです。

のんびり少年（前書き）

初小説です。文字や表現など間違えているかもしれませんが。間違えていたら「ここ間違えている」と教えてください。

主人公の名前は、三話まで決めます。

のんびり少年

春、ここ文月学園も春、そこに遅刻ギリギリなのに普通に歩いてくる青年がおった。

そして、校門の前で一人の男が立っていた。

鉄人「お前は、急ごうとは思わないのか？」

???「んっ？ ああゝ…鉄人啊ゝ…」

鉄人「鉄人じゃない、西村先生と呼べ」

???「んで、何ですか？ 西村先生」

すると封筒を渡された。

鉄人「振り分け試験の結果だ。」

???「渡さなくても、俺が何処だか、わかりますよ。」

鉄人「一応渡すことになっているかな。全くお前は、なぜ振り分け試験日に休むんだ。」

お前ならBやCに行けたはずだろうに」

???「まっ、気にしないでください。」

鉄人「全くお前は、一度補習を受ける必要があるな。」

まあいい、早く行けもうすぐで、チャイムがなるぞ」

???「んじゃ、そういうことで」

と言いながら教室に向かった。

廊下を歩きながら封筒を開け中にある紙を見てこう言った。

???「やっぱりFクラスか」

Fクラスの住人？ あっ！間違えた。 クラスメイト（前書き）

今回もあやふやだな

Fクラスの住人？ あっ！間違えた。 クラスメイト

俺は、A、B、C、D、Eクラスの教室を通って思った。

???「ふーん、格差社会でな感じだな……」

実は、俺は1年の2月頃に転校してきて学校のことは全然分からないし、友達は、少ない

だが、この学校には、面白いシステムがある。それは、試験召喚獣システムと言う。

3月の中旬に俺は、召喚獣の扱いを先生に許可をもらい、一応慣れさせてもらった。

今俺は、Fクラスのドアの前にいる。

???「ふーん、ここがFクラスかあ」

E、Fの差が激しいなあ、一気にぼろくなったなあ。」

あんまり気にしないようにしよう。

ドアを開けると男ばかり、まっ友達作るチャンスかもしれないけど。

???「先生おはようございます。」

福原先生「おはようございます。席は、自由なので好きな所へどうぞ。」

???「わかりました。」

俺は、窓側の席についた。（ちゃぶ台と座布団）
そのあとにチャイムが鳴って、ちよつとした後に、誰が入ってきた。

明久「ここがFクラスの教室!？」

これが格差社会で、奴か…」

福原先生「吉井君、早く席についてください。」

明久「はあゝ（　　。　　）　3　んで、僕の席は、どこですか？」

福原先生「好きな席へどうぞ。」

明久「席も決まってるのー!!!!!!」

そう言いながらはって来た奴は席についた。

明久「!!!　先生、僕の座布団、綿が入って無いんですけど…」

福原先生「我慢してください。」

明久「先生、すきま風入ってるんですけど…」

福原先生「我慢してください。」

バキ!!!

明久「先生、ちゃぶ台の足が折れたんですけど…」

福原先生「我慢s（明久「無理だよ!!!」）」

福原先生「はっはっはっ、冗談ですよ、これで直してください」

そう言いながら木工ボンドを出した。

なんだこのやり取りと思いながら先生が、自己紹介し始めた。

福原先生「えー、私が、Fクラス担任福原です。皆さん、よろしく
お願いします。では、廊下側の人から自己紹介をお願いします。」

秀吉「木下^{きのした} 秀吉^{ひでよし}じゃ、演劇部に所属しておる。今年1年よろしく
頼むぞい」

女見てーな奴だな。

ムツツリーニ「……土屋^{つちやこうた}康太 趣味は盗^{ぬす}と、何もない 特技は、
盗^{ぬす}、何もない……」

アイツ絶対になんか隠してる。

美波「うちの名前は島田^{しまだ}美波^{みなみ}です。ドイツ育ちで、日本語は、話せ
ますけど読み書きは、苦手です。 趣味は吉井をなぐることです。
はろはろ、吉井、今年もよろしくね」

おいおい吉井と言い奴がびびっているぞ。

明久「えーっと吉井^{よしあきひな}明久です。

気軽に、「ダーリン」って呼んでくださいね。」

Fクラスみんな「ダーリン!!」

わっかたことがある吉井とか言う奴はバカだ。
と思いつつ自分の番だ。

???「俺の名前は……………」

Fクラスの住人？ あっ！間違えた。 クラスメイト（後書き）

次回まで主人公の名前を決めないといけないな
+ キャラ紹介しないと

それに終わりがたがちょっとまいいや

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0258z/>

バカと武器と召喚獣

2011年12月1日21時56分発行